

令和8年6月1日

教員の公募について

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科長
橋本 篤
〔公印省略〕

本研究科において、下記要領で教員を公募いたします。

1. 職名・募集人員

准教授・1名

2. 勤務形態

常勤（任期なし）

3. 所属

生物圏生命科学専攻・生命機能化学講座・栄養化学教育研究分野

4. 講座および教育研究分野の教育と研究内容

生命機能化学講座は、バイオサイエンスとバイオテクノロジーの手法を用いて、食料、健康、医薬、生活、環境の広範囲な領域において生物資源を有効利用することを目的として、動物・植物・微生物の多彩な生命現象の仕組み、およびこれらの生物が生産する物質の分子構造と機能を明らかにし、その成果を新しい機能性分子や食品の開発、環境技術などに応用するための理論や技法の確立を目指した教育と研究を行っています。栄養化学教育研究分野では、食品成分に対する生体の応答を個体、組織、細胞、さらに分子や遺伝子レベルで明らかにすることを目的として教育研究を行っています。具体的には、動植物・微生物から得られた未利用資源などから生体調節機能を有する成分を精製して構造解析を行い、動物実験や細胞培養の手法を用いてそれら成分の作用機作を解明することで、健康の増進や生活習慣病の予防や改善に役立てる研究を行っています。

5. 担当予定授業科目

(学部・共通教育)

栄養化学，生理学，生命化学概論，生命機能化学概論，生命機能化学実験Ⅱ，生命機能化学演習Ⅰ・Ⅱ，卒業研究，化学基礎Ⅰ，データサイエンスⅠ，化学実験 など

(大学院博士前期課程)

栄養化学特論，栄養化学演習，生命機能化学特論Ⅰ・Ⅱ，生命機能化学特別研究Ⅰ・Ⅱ など

(大学院博士後期課程)

蛋白質化学工学，特別演習，特別実験，特別調査研究 など

6. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有し、博士前期・後期課程および学部の学生の指導に熱意を持って取り組めること。大学における講義、実験・実習および学生指導の実績を有することが望ましい。
- (2) 研究科・学部および当該教育研究分野の管理・運営に協調性をもって積極的に取り組めること。とくに、当該教育研究分野の教育研究について、関連する教員と協力して取り組めること。
- (3) 農芸化学や境界農学に関連する学会での活動実績があり、地域資源・未利用資源・食品に含まれる健康増進（骨代謝・血糖調節・抗酸化作用等）に寄与する成分の同定と、作用機作の解明に関する研究業績を有し、動物実験、動物細胞培養実験、生化学的・分子生物学的分析の技術を有すること。
- (4) 科学研究費補助金等の競争的研究資金の獲得実績を有すること（研究代表者としての実績が望ましい）。
- (5) 地域共創大学としての三重大大学の目標を理解し、地場産業の育成につながる産学共同研究に積極的に取り組む意思があること。

三重大学では、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

※本学では「三重大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」(令和4年12月27日)を行い、学内保育園や研究補助員配置など研究教育環境の整備やワーク・ライフ・バランス支援の取り組みを積極的に推進しています。詳しくは下記の URL をご参照ください。<https://www.diversity.mie-u.ac.jp/index.html>

※本学では、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。なお、選考に際し、男女雇用機会均等法第8条（女性労働者に係る措置に関する特例）の規定により、業績（研究、教育、社会貢献等）及び人物の評価において同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。

7. 応募書類（A4判にて PDF ファイルを提出）

- (1) 履歴書（写真貼付）
※本学指定の様式（以下よりダウンロード）に限る。
三重大学ホームページ（採用情報＞教員募集）
<https://www.mie-u.ac.jp/about/recruitment/>
- (2) 業績目録（原著論文、著書、総説、その他について、項目ごとに分けて発表時期の新しいものから順に並べ番号を付すこと）。原著論文については、自らの貢献度や実際に担当した部分について説明する文章（各200字程度）を添えること。
- (3) 上記業績目録に掛かる PDF ファイル（代表的なもの10編以内）
- (4) 研究費獲得実績、プロジェクト参加実績一覧（代表と分担の別を記載すること）
- (5) 教育に関する実績一覧
- (6) 社会連携に関する実績一覧
- (7) 管理運営に関する実績一覧

- (8) これまでの教育研究活動に関する概要（1000字程度）。上記業績目録の原著論文の文献整理番号を引用のこと。
- (9) 着任後の教育研究活動に関する抱負（1000字程度）。
- (10) 応募者の連絡先（住所，電話番号，メールアドレス）
- (11) 応募者についての照会先（2名：氏名，所属，役職，電話番号，メールアドレス）

8. 応募期間

令和8年6月1日（月）～令和8年7月31日（金）

9. 選考方法

書類審査を主としますが，選考の過程で面接を行う場合があります。
面接の場合の旅費は，自己負担となります。

10. 着任時期

令和8年11月以降のできるだけ早い時期

11. その他

給与は三重大学年俸制適用教員給与規程による年俸制とし，年俸額は採用候補者の経歴などを勘案して決定されます。

12. 応募書類提出要領

電子データでの提出。応募希望の方には提出用 URL をお送りしますので，下記メールアドレスに7月17日（金）までにご連絡ください。なお，メールの件名には「生命機能化学講座・公募書類提出用 URL 希望」と記載してください。

三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻
専攻長 教授 筒井 直昭
E-mail: tsu2@bio.mie-u.ac.jp

13. 問い合わせ先

三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻 生命機能化学講座
講座主任 教授 磯野 直人
TEL : 059-232-1211（三重大学代表）
E-mail: isono@bio.mie-u.ac.jp

1 4. 参考

生命機能化学講座教員一覧（令和 8 年 6 月 1 日現在）

教育研究分野	教授	准教授	助教
分子細胞生物学	竹林 慎一郎		プーンパーム ラウイン
分子生物情報学	末原 憲一郎	三宅 英雄	
生理活性化学	稲垣 穰		
創薬化学		増田 裕一	
生物機能化学		勝崎 裕隆 岡咲 洋三	
生物制御生化学	寺西 克倫		
食品生物情報工学	橋本 篤		李 斌
食品化学	磯野 直人		
微生物遺伝学	木村 哲哉	國武 絵美	
栄養化学		西尾 昌洋 [本公募]	栗谷 健志
食品発酵学		梅川 碧里	
食品機能学 (連携大学院)	小関 誠	小林 純也 清水 一雄	

生物資源学研究科のホームページ

<https://www.bio.mie-u.ac.jp>

生物圏生命科学専攻のホームページ

<https://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep03/index.html>

以上